

蔡焜燦氏が理事長に就任

台湾に李登輝民主協会が設立！

常務理事・事務局長

柚原

正敬

李登輝元総統が主賓挨拶

去る三月十三日、李登輝元総統が始めた台湾の民主化を今まで以上に促進し、馬英九政権の中国傾斜政策に歯止めをかけ、李元総統の日台運命共同体理念などを実現するため、台湾に「李登輝民主協会」が設立された。

大会が開かれた台北市内の国賓大飯店には、主賓の李登輝元総統はじめ陳唐山・前総統府秘書長（官房長官に相当）や黄昆輝・台湾団結聯盟主席、黄昭堂・台湾独立建国聯盟主席など多くの台湾要人が参加し、盛大にその門出をお祝いした。同会は本会のカウンタパートとなることから、田久保忠衛副会長が小田村会長の名代として、事

務局長の筆者を伴って出席した。

李登輝民主協会は内政部所管の社団法人で、理事長には『台湾人と日本精神』の著書でも知られる「老台北」と蔡焜燦氏が就任している。また常務理事に張燦鑒・元台南市長、秘書長に彭百顯・元南投県長、理事には台湾少年工出身の李雪峰・台湾高座台日交流協会理事長や、李登輝学校研修団でも講師をつとめていただいた李明峻・台湾国際法学会副秘書長など十人余が就任、錚々たる顔触れだ。

設立大会は同会事務局の張葆源氏が司会をつとめ、蔡理事長の開会の挨拶に続き、主賓の李元総統が挨拶。李元総統は党派対立に明け暮れる台湾政治の現状を批判するとともに、中国とE



挨拶される蔡焜燦理事長（左より鄭邦鎮氏、田久保副会長、李元総統、柚原事務局長 3月13日、国賓大飯店）

CF A（中台経済協力枠組み協定）を締結しようとしている馬英九政権は台湾の主体性を失わせると厳しく批判した。台湾は民主化の成熟と本土化を進めるよう努めるべきだと、李登輝民主協会の進むべき道筋を示された。

次に、来賓としてまず鄭邦鎮・元国家文学館館長が挨拶。続いて、田久保副会長が挨拶し、台湾に民主化をもたらした李元総統が世界から「ミスター・デモクラシー」と讃えられる所以や、台湾が日本にとって生命線である



昼食会で談笑される李元総統ご夫妻と田久保副会長（3月13日、国賓大飯店）

と同時に、米国にとっても生命線である」と述べ、最後に「桜寄贈は日台交流のシンボルです。今後は李登輝民主協会にお贈りすることといたします。このような交流事業を李登輝民主協会と進めることで、今後ともしっかりと手を携えて日台共栄のために邁進して参りたいと念願しております」と述べて祝意を披露した。

因みに、報道では、台湾李登輝の友会は李登輝民主協会に吸収・統合される予定と伝えられている。

安倍晋三元首相らから祝電

引き続き昼食会が開かれ、田久保副会長と筆者は李元総統ご夫妻や蔡理事長ご夫妻とご一緒のテーブルで、このテーブルには陳唐山氏や黄昆輝氏などもご一緒だった。

昼食会では、蔡理事長と昵懇の安倍晋三・元首相やジャーナリストの櫻井よしこ氏、金美齢氏、そして小田村四郎・本会会長など、日本から届いた祝辞が披露され、台湾在住の早川友久・本会理事が読み上げて披露した。

安倍元首相は、中国の軍拡路線に対する懸念を示す一方で李登輝民主協会発足の意義を讃え、台湾の民主運動の中で大きな輪となって広がっていくことに期待を表明した。小田村会長の祝辞全文は以下の通りである。

（ご列席の皆様、本日は李登輝民主協会の設立、真におめでとございます。心からお祝い申し上げます。

理事長には、これまでいろいろご教

導いただいている蔡焜燦先生が就任され、日本李登輝友の会のカウンタートともなるとお聞きしましたので、私自身も出席してご発足をお祝いしたかったのですが、訪台が叶わず書面をもってお祝い申し上げます。日本からは田久保忠衛副会長、柚原正敬事務局長が参加させていただきますので、宜しくお願いたします。

李登輝民主協会は、李登輝先生もたらされた台湾の民主化をいっそう促進し、馬英九政権の中国傾斜政策に異を唱え、李元総統の透徹した日台運命共同体理念などを実現するために設立されるとお聞きしています。今後は桜寄贈などを通じて交流の一層の緊密化を図り、日台共栄のために力を合わせて邁進することを期待しております。

最後になりましたが、成立大会のご盛会ならびに皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。

近々、蔡理事長らは来日し、本会役員と懇談する予定となっている。